

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	本事業は家庭保健ユニットの保健活動(住民宅へ戸別訪問し健康状態の観察や必要時には診察を促す活動、各ユニットによる妊産婦クラブ・健康クラブ等特定対象者へのグループ活動(以下「ユニット活動」)が活発化することで、住民の健康状態が改善されることを目指した。 保健推進員の能力強化、住民のユニット活動への参加の促進、新たな診療所の建設、整備を通して、事業対象地の保健環境を改善した。それによって、少しずつではあるが住民の健康に対する意識や行動の変化が見られ始めた。 住民の意識や行動変化の一例として、ユニット活動のメンバーとして活動していた妊婦が、ユニット活動を通して胎内でどのように胎児が育つかを第3子の出産を前にして初めて理解し、より適切に自身の健康を管理できるようになった。また、高床式の診療所を新たに建設し、大雨が降っても住民は診療所で診察を受けられるようになり、健康状態を維持できるようになった。事業開始前は、大雨や洪水によって診療所が床上浸水になり、診療所内に汚水が広がり、診察が度々出来なくなっていた。そのため、住民は適切な処置が受けられず、健康状態に深刻な影響が出ていた。
(2) 事業内容	(1) 家庭保健ユニット強化・住民への啓発活動支援 【外部専門家、ADRA 専門スタッフによる保健推進員への研修】 本事業では、フェーズ1(2013年1月から2014年1月実施)の事業対象であった4ユニットも含めた事業地の全ユニットを対象に研修を行なった。立案時は12ユニットであったが、事業開始時には13ユニットになっていたため全てのユニットを対象とし実施した。研修は、13ユニットの57名(保健推進員54名、助産師2名、看護師1名)を4グループに分け実施した。 研修実施前にはADRAスタッフが各ユニットを訪問して現状を把握し、その情報を元にSWOT分析を行なった。この結果を踏まえ、保健推進員として活動するにあたり不足している知識や、強化すべき点を取り入れた計画を立案した。その結果、当初の予定より研修回数を増やすことにし、事業申請時の48回から66回に変更した。 研修のテーマには栄養やリプロダクティブヘルス、糖尿病、麻薬の害、健康啓発のためのラジオ放送の手法などのほか、複雑な背景を抱える住民の話聞くことにより精神的ストレスを受けやすい保健推進員の心のケアについても取り上げた。 基本的にはグループごとで研修を実施したが、各テーマの中でも特に事業地で大きな課題となっている糖尿病、麻薬の害に関しては専門の講師の元、全グループ合同で実施した。 【ADRA 専門スタッフによる家庭保健ユニット職員の活動サポート】 保健推進員が研修で学んだ内容をユニット活動で実践するにあたり、ADRA スタッフはその活動を支援した。初期はユニット活動の進行を主にADRAスタッフが担い、徐々に保健推進員に主導権を移すことで、保健推進員のユニット活動の実践能力を向上させた。

	また、既存のユニット活動の強化に加え、新たなユニット活動を立ち上げ、活動計画の立案を ADRA スタッフと保健推進員が共同で行なった。毎回、活動計画に基づいて、保健推進員と ADRA スタッフがともに活動の評価を行い、次回以降の活動計画を見直した。なお、この付き添い活動は事業開始時点でユニット活動の定期開催ができていなかった 7 ユニット、28 名の保健推進員を対象に行なった。 予定した活動は、降雨が激しい時期と洪水に見舞われた時期を除き、計画通りに実施できた。 (2) サン・プラス家庭保健ユニット診療所の建設 事業地には以前から家庭保健ユニット（地域住民のための診療所。以下「診療所」）が存在していたが、川に近い地域にあり、増水時や大雨時には床上浸水などの被害を受けて診察を中断することもあった。加えて、浸水によって汚水が広がるなどして、診療所内の衛生状態も悪化した。 年間を通じて診療所を安定的かつ衛生的に運用するため、パラグアイ厚生省及びアスンシオン市と協議して診療所の移転先を決定、診療所の建設および必要な資機材の提供を行なった。 診療所は 2016 年 7 月に完成し、厚生省に引き渡された。
(3) 達成された成果	(1) 家庭保健ユニット強化・住民への啓発活動支援 成果 1) 目標) 保健推進員が研修を通して知識を向上させ日々の保健活動に応用できるようになる。保健推進員は保健活動を活発に実施できるようになる。 ・保健推進員は住民への個別訪問時に研修で得た知識で住民に個別のアドバイスを行なえるようになった。 ・保健推進員から洪水後の避難地でのユニット活動の進め方に不安があるという声があったため ADRA スタッフがユニット活動の進行を中心になって行なった。保健推進員は研修の進め方を学びながら進行のサポートを行い、その中で新たな環境でのテーマ選び、進め方を実践的に学んだ。 ・保健推進員が研修を通して、ラジオ放送の活用方法を学び、より効果的に啓発活動を行なえるようになった。 ・食事のサンプルを提供し、調理の注意点について実践的に習得したことで、住民へ健康的な食事について指導できるようになった。 ・7 ユニット全てが半年分のクラブ活動の実施予定表を立案できた。また、実施後に振り返りを行ない、次回以降の活動計画に反映させられるようになった。 ・7 ユニットのうち 6 ユニットが定期的にクラブ活動を行なえるようになった。 指標 1-1) ユニット活動計画の立案率：100% 1-2) 計画したユニット活動の実施率：96%（目標 47 回、実施 45 回） 1-3) ・保健推進員による住民宅への戸別訪問：約 100%。

	・ユニット活動への参加数：平均参加者数は約 15 名。特徴としてユニット活動開始時には少数の参加者であったが回数を重ねるにつれ徐々に参加者が増加していった。 (2) サン・プラス家庭保健ユニット診療所の建設 成果 2) 目標) 浸水被害を受けやすい診療所を安全な場所に移動し施設の衛生状況が改善され、浸水被害により業務が滞らず活動が出来るようになる。対象住民約 4,100 人が衛生的な環境で保健サービスを受けることが出来る。 ・パラグアイ厚生省及びアスンシオン市と協議した浸水被害の少ない地域に診療所を移転し、降雨による増水で浸水被害を受けなくなったため業務が滞ることなく行なえるようになった。 ・高床式の診療所を建設したことで床上浸水することがなくなり当初の予定よりも 900 人以上も多い住民約 5,000 人が衛生的な環境で保健サービスを受けられるようになった。 ・診療所建設後の受診者数は以前の診療所に比べて 25%増加した。 ・診療に必要な備品として乳幼児・成人用の身長・体重計や血圧計、待合室の椅子やカルテ棚などを提供し、診療所の診察技術が向上した。それによって、住民がより適切な診察及び治療を受けられるようになった。 なお、同省が定める基準には含まれていなかったが、階段部分の安全確保のために手すりを追加したほか、周辺の治安があまり良くないことから、セキュリティ対策として防犯カメラを設置したことによって、医療資機材が盗難にあわなくなった。 指標 2) 診察室 2 室、歯科診察室 1 室、薬局 1 室、急患室 1 室、カルテ室 1 室、身障者トイレ 1 室を備えた高床式の診療所 1 棟を建設した。
(4) 持続発展性	(1) 家庭保健ユニット強化・住民への啓発活動支援 ・事業を実施する中で、事業地で活動している他の NGO にユニット活動に関わってもらい、各ユニットとその NGO との関係構築を行なった。本事業終了後も、その NGO は事業地で活動を継続しており、ユニット活動に引き続き助言等を与えてくれている。 ・ADRA スタッフと NGO が合同で 2016 年度のユニット活動の活動計画を立案し、今後はそれに基づいて活動が行なわれていく。ADRA パラグアイは今後も事業地の NGO や診療所と連絡を取り合いながら活動のモニタリングを行ない、必要があれば助言等を行なう。 ・本事業を通じて診療所とパラグアイの厚生省との関係が強化され、診療所の医療従事者と保健推進員は厚生省が行なっている研修に参加しやすくなった。今後、研修への参加を継続していくことで、さらなる知識の向上を図ることができる。 ・今後、各ユニットはパラグアイの厚生省にユニット活動の実施報告を継続していく。それによって、必要時に厚生省に協力を求められる。 ・ADRA パラグアイはアスンシオン市内の他の貧困地域で住民の健康改善に取り組んでおり、今後、本事業で得られた知見（例として、保

	健推進への研修方法)を取り入れ、対象地域の保健環境の整備を継続していく。 ・パラグアイの厚生省は本事業の事業方法、成果を評価しており、一つのモデルケースとして保健分野で活動する他の NGO に紹介するとしている。本事業の取り組みが他の団体の参考として活用されていくことが期待される。 (2) サン・プラス家庭保健ユニット診療所の建設 ・診療所は厚生省の管轄となり、今後、厚生省が診療所の管理、運営、モニタリングを行なっていく。施設管理の方法やスケジュールについては、建設開始時に厚労省と契約を締結している。 ・建設を機に周囲の住民の行動に変化が見られ、排水管の整備、道路補正を積極的に行ない始めた。アスンシオン市役所も道路整備に協力しており、市と住民による衛生的な環境整備への取り組みが拡大されている。
--	--